夕刊 磐城新聞
十二月六日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢
廣告料 普通一行金六拾錢 雜報一行金九拾錢(五號十二字詰 出所指定一行二回)
編輯印刷兼發行人 柏木 竹
發行所 福島縣石城郡平町田町十六番地 磐城新聞合資會社
振替貯金(ヘイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

奉天の客舍から

—十一月盡日夜—

鈴木默鐘

上

滿洲の山川草木は、大陸的な點に於て日本では見られぬ風致があります。それだけに私のやうな放浪性に富んだものにはすべてが印象的であり、又言はれぬ親しみがあります。滿洲といふ名からして大陸的であり、どことなくノンビリとした開放的なところがあります。滿洲は支那の領土であつただけに、何處の地に行つても支那人がウントゐますし其活動性に富んでゐる點に於て驚きもし感心することもあります。支那人は金には全く強い執着心があり、膠漆のやうな物慾心にとらはれてゐますが、それも亦止むを得ない事情があると思へば許す氣にもなれます。彼等には國家もなく、政治もなく、頼るべき何にものも無い哀れな人間です。すでに國家なく、秩序なく、政治なき彼等は何を頼りに生きて行くであらう。唯金といふものゝ外に頼るべき何ものもない譯なんです。彼等支那人が金に執着するのも此の點に於て止むを得ないとむしろ同情する氣にもなります。大連でも、新京でも、奉天でも、馬車、人力車はすべてが支那人の勞働者で、十町以內は十錢位でよろこんで走ります。私は彼等の氣もちがよくのみこんでゐるので十錢くれるところに十五錢二十錢位やると其感謝に滿てる表情は全くヤワレボクなります。

×

支那人を操縱するには、彼等に頼るべき中心を與へることです。子が親を中心とすると同樣に、彼等によるべき親ともなる中心をしつかり握らしむることです。滿洲に住んでゐる支那人は滿洲國といふ母國が發生した今日、自分の父ともなり頼るべき柱を發見したことによつて人間らしい生活に觸れることができました。國家なき支那人が國家を發見し、政治なき支那人が政治を發見し、秩序なき支那人が秩序法律を發見した譯です。故に彼等は生きようとするマジメな、そして緊張した、其日其日に生きてゐる實狀を見て私は心ひそかにほほえまざるを得ないんです。

×

こふして廣漠とした滿洲の旅を續け、放浪性を存分に自分の心胸に滿たして來た夜旅宿の一室にホットして、疲れを想ふとき、私の內心にはさまざまな過去のすべてがよみがへつてきます。死んで行つた妻子、父や母死んだ子供の顏が浮んできます。死んだ妻の笑顏が去來してきます。いま私には家庭といふものが無い、妻がない、旅にあれば人は寂しいものです。

霜

堤光泰

見世物小屋の朝である
女の白い脚に
しつとりと
霜が降つてゐる——
喉の乾いた
一匹の豹が
それを
心地よげに
舐めてゐる——
女は
その舌に
沙漠の情熱を感じてゐる

追想

菅泉京

渚にでて
獨り君を思ひ
唄をうたふ
浪の音に唄かき消され

磐新歌壇

小山田滋選

『厨べ』 中川浩

○男われ朝々起きて飯炊ぐ 朝の厨は身にさむきかな
○亡き母を思ふわが身の朝な朝な 飯炊ぐ手は荒れにけるかな
○厨べの朝は靜けしわが炊きし飯のむれくる香り漂ふ

小野田靖子

○わが悩み日毎に深し思ふ人の消息さへも知りがたきかな

『秋』 渡邊清也

○こがらしに飛ぶ煤煙にのせたきは 寂しき今日の我が心かな

時代警語

○暴虎馮河は吾れ與みせず…………(論語)

須く事に臨んでは懼るべし、かくて智は生ず、而して愈々事に當りては須く勇猛奮進であれ、必ず大事と雖も成るものである…

拈華微笑

ウンと毆つた。三つだつた。が磐中毆打事件の紛爭點とやら

◇

セツカウの小名濱で派出所のセウカク話◆洒落ぢやない眞劔だ

◇

トラを怖れぬ平町民。开塵事にはライオン以上の勇敢さ

◇

女房の搜索願二件。男の面が馬鹿げに見へる近頃の世相

◇

師走氣分を一層感傷に導く昨今の空模樣

12月7日

△崇德天皇讓位(永治元)△官吏恩給令を制定す(明治一七)△台灣南部强震死傷者七名(昭和五)△米國議會開會△聯盟理事會十二ヶ國會議で我が提案採擇(同六)

社會の今日

○

蝿が來てつばさ休める冬の窓の、陽のぬくもりに私も坐る　藤田みづを

梳らぬ我に驚く冬鏡　一助・太

講談 お蘭陀お蝶

(200) 渡邊默禪作 市施長壽畫

表も裏も固く戸締がしてあつて、家の中から線香の匂ひがかすかに洩れて來るばかり、ひつそりとして人氣がない。花間に咲き亂れた罌粟の花いたずらに、風に頷いて竹藪の蔭から餌を呼ぶ黄雛の聲がちよ〳〵と聞えた。

『こりや、どうやら留守ぢやさうな』

武家は失望した樣子で少頃其處に行んでゐたが。

『香の匂ひが洩れ參るのは何か佛事などあつたと相見ゑる、むゝ、さては一同打ちつれて家を空に寮参に出かけ居つたか、いや在所は留守でも村の者なら何處にか居るであらう、その者に左樣申し上げて歸宅を待つと致さうか、幸ひ彼の小川に燕子花が眞盛り御覧に入れたなら又たた慰みともならうわい』

引き返さうとする折柄背戸の方でがや〳〵と話し聲がして、近所の百姓と一緒にとつさくさと戻つて來たのが與平であつた、今し狸谷の石不動から歸村して裏手の畷道を我家へと駈込んだのである。

『おや、おや、見馴れない人が大分居るね、與平どの お客やないか』隣の爺が眞先にこれを認めた。

『なに、た客?おう大變な乘物が着いて居るが、はアての』

與平は怪訝そうに目を睜つた

『ア、コレ、村の者』

と見て武家は近くに寄つた。

『其方に相尋ねるが石切渡世の與平宅は是であらうな!』

『へゝ、左樣で』

與平はきよろ〳〵・

『見受くる所全家不在の樣ちやがいづれに參つたな』

『へゝ一寸用達に……今やつとこせえ戻つたところ』

『その與平はいづれに居る!』

『私でござりますが』

『おゝ、其の方か娘のお蝶とやらが居る筈、そのお蝶に一寸逢ひたいが程なく歸宅いたすか、どうぢや』

『えッ、お蝶ッ?』

與平ははたと思い惑つて口をむつゝきさせながら武家の顏を瞞めた。

『お蝶に逢ひたいと彼仰る尊君さまは、一體、ど、どちらから、な、何の御用でお越しになりましたな』

『いや、その不審は道理、身們は昨日祇園に於てお蝶に一寸逢ふたことのあの上州の坂本と申す者ぢや』

『えッ、貴君さまがアノ上州さまの旦那樣、む、娘を救けてくだされました上、澤山なお金までめぐんでくだされた、アノ坂本樣でござりますか、是れは存じませんこととて、とゝ飛んだ不調法を……コレ〳〵、近所の衆、お辭儀をして呉れ〳〵、ソレお前共に話しをした慈悲深いお武家さま、娘の恩人でござるちやで、ヘイ〳〵、彼の筋は有難うございまする』

四人一度に手を土に着けた。

『何も、些細なことに左樣な斟酌立は無用ぢや、有樣はの、與平』

『へえ』

『娘にその切申聞けた筈、今日の白川の名所巡りをいたさうと存じて、態々當所に罷り越したが、上州不案內のことゆゑお蝶に其の道しるべを致し異るゝやうに約束をいたし置いたちや、彼箇に御座らるる方はお忍びの御遊山ゆゑ御名前は申しかぬるが、さる御公卿の若君、御見學の爲とあつて御成にならせられたのぢやぞ』

『やれまア、勿体もない』

與平は喫驚して顏を擡げた

是れが維新の奇傑として一世にその名をうたはれ赤手よく天下の太勢を動かした海南の偉男子坂本龍馬であつた。

藤沼醫院 平町紺屋町電五〇七

ラヂオ 仙臺 JOHK 七日…(水曜)

△前七、〇〇 八、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇H 料理献立(二チヤンツイペンニー二パイチヤニーペン)宮城縣食肉協會 日用品値段
△一〇、三〇H 家庭講座(家庭と書法學)桑原八司
△正午 A 時報
△後〇、〇五 浪花節(櫻川五郎藏)東家燕美丸
△〇、四〇 ニユース
△二、〇〇A 家庭大學講座(青年期の心理)東大助教授青木誠四郎
△三、四〇 氣象
△四、〇〇 ニユース
△五、〇〇A 受驗講座(英文和譯)日進英語學校長佐川春水
△六、〇〇(子供の時間)オーケストラ 川南兒童管絃樂團
△六、二〇 コドモのシンブン 村岡花子
△六、五五 カレント、トピツクス ハロルド、バーマー
△七、〇〇A ニユース 氣象
△七、三〇B 國際時局特別講座(聯盟總會と日本)京大教授法學博士末廣重雄 (聯盟總會に就て)帝國全權代表情報部長法學博士伊藤述史
△八、〇〇B ラヂオドラマ(ビヨルンソン生誕百年に因みて)伏見直枝 外
△八、四〇A 宮薗節(道行緣花房)宮薗千鳳
△九、〇〇A 忠臣藏花曆(琵琶…大高源吾)高倉旭子
△九、三〇A 時報 ニユース 氣象

廣告

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四

良い寫眞! 最新式設備……新しい技術 寫眞館サクラ 平町田町驛前通り

磐城 共濟病院案內
院長 醫學博士 石山謙郎 (自宅)電話一二四番
內科(醫學博士 石山謙粹)
小兒科(醫局員 佐久間重次)
外科耳鼻咽喉科皮膚徽科(醫學博士 桂 有馬勇二郎)
產婦人科(醫學士 五十嵐雄二)
(醫局員 佐久間粹)
X光線科(醫學博士 石山謙郎 技師 工藤慶造)
衛生試驗所(醫學博士 石山謙郎 技師 高後利雄)
藥局(藥劑士 吉本孝平)
△診療時刻 午前八時より午後五時迄 但急患は此の限りに非す
平町 磐城共濟會 電話六四一番

金銀高價買入
純金八圓七十錢買入
大判 廿二金 七圓五〇錢
小判 廿金 六圓五〇錢
十八金 五圓六〇錢
金歯 六圓五十錢 以上
確實高價買入 付ニ匁一
金光堂時計店 平五電一九五

紅ヒ紅茶代用品
即席志るこ 出現
何處の御家庭でも熱湯さいあれば卽席に出來ます
尚一分間炊けば一層風味良く出來ます。
在來の晒あんとは全々違ひ日向臭く有りません。
小豆天賦の風味芳香と榮養分完全に保有されてあります。
年末年始の贈答品には好適當です。
一袋正量三七五瓦入(約十人分)金三十錢
贈答品函入 金一圓
製造發賣元 日進堂 平町田町 電一八六
(特約販賣店募集)

漆器も需要季に入り俄然暴騰致しました
絶好無二の御買時
在庫品見越買附品豊富
◆平素ノ御引立ヲ衷心ヨリ感謝シ
◎大奉仕精神ヲ徹底セシムベク
○在庫品全部ノ
從前値段販賣ノ一大奉仕
お正月の御用意お屠蘇具が種々入荷致しました。
專門漆器平町に只一軒の………
セミノモリヌ、ルカクスヤ。モリヨコド
チナシイヨ。モリヨコド……
各國產漆器專門卸小賣
共 共榮漆器店
(平町3町目36元郵便局裏通)
店員募集 十二三才…小店員 三十才迄…外交員 優遇す

祝七五三
た祝記念として特に勉强致します!!
大野寫眞館 平町仲田町

七五三子供服大賣出
お孃さまやお坊ちやまの可愛らしい御就用子供服子供オーバを種々……取揃へ店頭に陳列して御座います。
◆女兒服 色スル 二、一〇ヨリ ビロード 二、三〇ヨリ
◆男兒服 スコツチ 一、九〇ヨリ 茶メル 三、四〇ヨリ
◆男女柄オーバ 二、〇〇ヨリ
◆メルトンオーバ 二、六〇ヨリ
ふかや洋服店 平電話 二〇二 三三〇

淋藥界の最高權威
無効返金(二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す)
岩里 別府淋藥
一週間…赤箱—金五圓 黑箱—金參圓
世界の名湯別府溫泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渇に奇績的効果あり、どんな頑固な麻疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥 金三十錢 金一圓十錢
天下の名湯別府溫泉のラヂウム含有の精に各病院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なます、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園 岩里天然堂
平町三丁目北裏通り 代理店 渡邊いと
(特約店募集)

夜間 診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 痔瘻病 婦人病 專門 外科部
松村醫科醫院 (平町南町電一〇七番)

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅舘
須藤まつの

風か雨か？磐中の態度
明七日午後一時同窓會代表へ回答
學生毆打事件の成行き刮目さる

關内會長以下磐中同窓會代表數名は昨報の如く昨五日午後一時から磐中に橋本校長を訪ね齊藤教頭も立會ひの上横井體操教員の生徒毆打事件に關し前後一時間餘に亘り既報の各項に就て質問の矢を放つたに對し校長は明七日午後一時更めて會見責任ある答辯の下に學校當局の態度を決定する事となつたが當日の空氣では問題解決上兩者間に相當の開きがあるものの如く學校側の態度が幾分軟化せざる限り圓滿解決は或は差し當り望めぬらしい雲行きに在る

橋本校長出縣　橋本磐中校長は今六日出縣したが時節柄前記問題に關してゞは無いかと

小名濱警察署　昇格の希望
一部町民間に
但商港實現前は絶望

商港修築、上水道新設、平小鐵道設置と將來の大都市を目指して躍進を續けて居る小名濱町では最近從來の警部補派出所を警察署に昇格せんとする輿論が擡頭し識者間に論議されつゝあるが同町の死活問題たる商港が二十二萬五千圓の地元負擔に行き惱んで居る折柄だけ之が新築費捻出の途がなく現在は單に希望程度の輿論たるに止まり結局は先決の商港實現と共に昇格運動に入るものと觀られて居る

金錢債務調停事務繁昌
開始以來平區の取扱ひ
今日迄に四十四件

平區裁判所に於ける金錢債務臨時調停事務は開始した十月中の二十件内成立八件の好成績から去月中は新訴三十二件、舊十二件、計四十四件の大繁忙であつたが其の結果を見ると二十圓、五十圓迄各一、百圓迄二、二百五十圓迄八、五百圓迄九、千圓迄一一で債權者申立二、債務者申立三十件で結局成立一四、却下六、取下八、計二八、未決一六である

平豫算町會
十七八日頃開催

豫算編成の平町會は十七、八日頃開催されるが公會堂建設、第三小學校の増築其他各種大事業を控へて居るので財政難の折柄靑沼町長の豫算編成技術に多大の期待がかけられてゐる

當面の急問題を捨て、被害報告を怠る各町村
免租出願の遲延に却て當局が焦慮

風水被害田畑に對する免租問題は既報の如く鈴木代議士其他の説明によつて動かされた當局に於て既に夫々調査の手答が定まり今後の推移を注目されてゐるが法律によれば

△北海道又は府縣の全部又は一部に亙る災害又は天候不順に因り收穫皆無に歸したる田畑に付ては納税義務者の申請により其年度分地租は之を免除す。免租の申請を爲さんとする者は税務署長の承認を受くる迄收穫皆無の事實を證するに足るべき作毛を存置すべし

とあり被害激甚地は當然之れが適用を受くるものと觀られてゐるが平税務署の照會に對し被害の回答あつたのは殆ど關係のない十三ケ町村に過ぎぬので今尙ほ大局を攫む事が出來ないが今後の調査により關係者をして着々對策を講せしむる方針である

税率輕減の反對に　滯納者が比年激增
整理に手を燒く當局

平税務署管内に於ける國税未納額は好況時代の有名無實な鑛業税一萬八千圓、公賣額の酒造税八千圓其他は次の如く昭和二年當時から税率が約二割の輕減なるに反し滯納は一昨年來著しく激増し各方面に於ける財政の逼迫を如實に物語つてゐる

年度	人
2	九九〇
3	一、四一二
4	一、五四三
5	三、二四九
6	三、五三一

平の三萬町民は衛生的に無關心
トラホーム治療に現れた　寒心すべき現象

過般施行した平町のトラホーム檢診は現住二萬七千五百六十八名中受檢者僅か四分一の六千五百六十二名に過ぎず衛生上の無自覺さを遺憾なく暴露したものとして非難されて居たが更に驚く可きは町から半額治療券を交附する罹病者七百九十名中最寄醫師の治療を受けつゝあるものを此程調査した處僅か八分の一の百名足らずが診察を受け内二名が全治したのみで他は總て全然治療を受けなかつた寒心すべき一事で當局者も愕然としてゐる

赤井玉川消防へ金馬簾

赤井、玉川兩消防組では道路改修、貯水池新設、鐵骨火見櫓建設、林野火災豫防標札設置等の功績により渡警察部長から金馬簾一條を授與され今五日平署から夫々傳達した

とよ何處？
鐵砲丸の里歸りに　夫から捜索願

好間村下好間雜貨店三士大五郞內妻遠藤トヨ（三〇）は去月二十日伊達郡保原町の實家に戻つた儘歸宅せぬので此程親許へ照會した結果全然戻つて居ない事が判明今六日大五郞から平署へ捜索方を願ひ出た

盲生五名に町で給食
三小學の欠食兒は漸次減少

深刻な不況が生んだ平町三小學校の欠食兒童は七月中には合計十名に達し當局者を惱まして居たが昨今では匡救土木事業其他に依つて現在では第二校に僅か二名を殘すのみの喜ぶべき現象を呈して居る矢先此程から訓盲院初等科生徒中親許からの送金も無く且つ食費を稼ぎ出せぬもの五名を出したので町役場で給食中であるが寄宿生中には往々此種の慘なのもあり當局者も少からず手を燒いて居る

小名濱町　火防運動
煙突組合の奉仕

此程組織された小名濱町煙突組合では防火運動開始の爲町内の煙突數を調査した處所有者七百八十名で千百六十基に達する事が判明し

姙娠した女弟子が親方へ慰藉料請求
廿六日平支部で辯論

內鄕村宮髙橋イノが增田辯護士を代理人として茨城縣多賀郡國分村鈴木秀之助を相手取り千圓の慰藉料請求訴訟を提起した事件は二十六日第一回の口答辯論を開く事になつたが鈴木は八月中內鄕村で理髮店を營業中弟子のイノと關係姙娠せしめたまゝ鄕里に歸つてしまつたものであると

箱崎君へ賞狀　赤井小學校五年生箱崎正平君は縣募集の防火宣傳ポスターの二等に入選し今五日平署を通じ消防協會から賞狀を授與された

第三區校長會　十日午前十時から平第一校に於て開催し作法書、國旗掲揚法、敎務主任會講習會開催の件に就て協議する

女靑團長會　郡第三區女子靑年團長會は十日午前九時より平第二校に於て開催し總會開催に就て打合をする

磐中人國記　六
赤井嶽男記

△完成された人々

10猪瀨乙彥氏（內鄕）豫備海軍大佐。

芦花の傑作『不如歸』が全國子女の紅涙を唆り、薄命の佳人浪子と眉目秀麗な靑年士官川島武夫とのエレベーションされた情熱の經緯の而も機微を穿つた纖細な描寫によつて、村娘野嬢の臍繰り迄一冊三十五錢の本代に吸收された時代丈けに當時海軍兵學校生徒として不如歸篇中の川島武夫を目のあたり見るやうな七つ釦に短劍下げた氏が夏冬の休暇毎に新堀の賢母老刀自を喜ばする姿は、この方面から通學する靑少年學徒欣羨の的であつた事は勿論である、その頃同窓の須田由松（故）內藤義治兩氏との連名で母校に寄せた。

——江田島は西能美島と共に江田島灣を扼す、灣內水深くよく大艦巨船を入るるに足る、本校亦之の灣に臨みて建設せられ運用術、水雷術の練習は多く此の灣に於てす、豈海軍將校を養成するの好適地ならずや（中略）生徒は從來自治共同を尊重し校則を待たず互に德義上の制裁によりて軍紀校紀を維持する美風を有せり、抑々本校は帝國海軍の基礎にして帝國海軍の盛衰は本校の盛衰によりて卜知するを得、本校生徒の責任重且大なりと云ふべし。

なんて通信は如何に後進生の血を沸かせた事であつたらうか！閑話休題。爾來とんとん拍子で累進、曾て揚子江を遊弋上下する事多年、屈指の支那通として部內に鳴つたものであつたが遠からぬ將來のアドミラルを以て目した一般の期待を些か裏切つて豫備役に入つた事は母校も鄕黨も萬斛の遺憾を感じてゐる處である進莫、陸に賢兄俊雄將軍を海に乙彥大佐を出した新堀の學者猪瀨先生家門の榮へは蓋し世の何人も之を認める處である。神戶市現住

11栗原一郎氏（四倉町）東大法學士

それ橄欖の樹の蔭に、自治の礎高ければ、橘香ふ風淸く、吾が城の春は回り來て、尙武の花のとこしへに、結ぶ理想の實も固し、——

先輩水野武太郎氏（故小名濱町出身）と共に中寮々歌などをまくらに校友會雜誌へ通信を寄せたりしたもんだ、赤門出のチャキ／＼として夙くから實業界に入り遠くヂャワ、スマトラ方面へ迄長驅し、ゴム採取事業を宰領して獨自の才幹を縱橫に揮つた。歸來倍々敎養ある實業家としての貫祿を見せ護謨界之の人あるを認識さるるに至つた。栗原欣次郞氏の令兄で東京豐島區巢鴨町現住

年迫る
寒さに恵まるる簡易ホテル
煎餅蒲團でボロイ儲け　昨今が書入季

……（F）……

▽　△

夕闇迫つて車馬の往來疎らな鎌田橋上を——

『どうぞはや、旦那さんや御新造さんや、なんぼ貰つてもこの盲目は助りやせん……』

咽ぶやうな哀音をしぼり乍ら竹の杖をたよりに頸を明後日の方に向けたお菰さんがトボ／＼と歩を運んで來る『橋の袂』そこは彼が一日の生活戰線の最終點だ——で彼は其處より歩調も稍々早く『旅人宿』の暖簾を潜つた。

▽　△

東、西、南から北と、疲れた足を引摺りながら集ひ來るお菰さん。羅宇のすげ替へ、下駄の齒入れから遍路の大德？さてはムニャ／＼の法華行者さん。雜然混然蟠居して、淡い十燭光の下にある火鉢を中心に天下の形勢、生業話しに花が咲く——が軈て城山の鐘が木枯に送られて支那そばやのチャルメラが長く尾尾をひいて遠ざかり行く。間も無く十錢玉二枚と交換の煎餅蒲團を冠つて何れもは華胥の國に入る事になつてゐる。

▽　△

空ッ風の荒ぶ師走から本格的寒さを過す一ト冬中はこれらの人達に密接な關係にある簡易ホテルの書入れ時とある。

（玲光生）

仇し女に捨てられ以前の妻子を戀ふ
迷夢がさめて其筋へ捜索願

內鄕村御厩菓子職齊藤吉五郞（四五）は五年前姙娠中の妻ハル（三七）と子供二名を殘して情婦なる赤井村赤井元酌婦吉村ムメヨ（三〇）と駈落したので殘された妻は全く糊口に窮し村役場の世話で分娩の上何處へか移轉したが吉五郞は其後水戶市でムメヨと同棲中三年前女に逃げられ身から出た錆と諦め獨身生活を續けて來たものの昨今沁々と悔悟の情が起り昨五日夕刻平署に妻子の捜索方を願ひ出た

玉川の小作爭ひ　玉川村の地主齊藤某と小作人佐々木某との間に行はれた器物毀棄事件は目下其筋で取調べ中であるが土地を取上げられた被告佐々木某の兄弟は將來食つて行けず地主の播種後に拘らず麥蒔時とて遂に其の畑地を堀り返し更に自己の手で種を蒔いたので何とか穩便に納め度いと上田檢事は奔走中である

郡出身四君無事
監禁警備隊員の動靜に
嬉しい情報入る

滿洲里國境警備隊員で蘇炳文軍に監禁され生死の程を危ぶまれて居た邦人二百名中百二十名無事の情報あり郡關係者次の四名も恙ないものと觀られてゐる

△下小川村大字關場字高垣四五警士箱崎慶三郎（二六）△上小川村字柵平二草野正保（二四）△草野村下神谷字東大苗代一二〇同阿部利男（二四）△夏井村大字大越字根廻三八同渡邊正（二二）

旅先で病む　小名濱町觀音崎木賃宿小松龍太郎方止宿仙台市東五番町生れ油行商本鄕ワグ（四七）は數日來中耳炎から餘病を併發し目下生命危篤なので昨五日同町役場で行路病者として收容し今六日引取りに向つた同市キリンビール會社員實弟修之助に引渡した

農事傳習會　永戶、箕輪組合村で十二日午後一時から村役場に開く

パラダイス開業　平町久保田パン店では此程南町（元オリエント跡）にカフェー、パラダイスを開業したが『朗かな氣分、朗かなサービス』を題句に好人氣を博してゐる

平支部言渡し　赤井村大字高萩木賃宿最上屋方居住東白河郡近津村大流字門の內和田新一（二二）が八月二十日元內緣の妻まさ（一九）の父舘福太郎（四四）を殺害した事件は懲役十三年△內鄕村綴堀坂坂中クラ（四五）が亭主の惡罵されたのを恨み箭內留治方に放火した事件は懲役二年半、何れも今六日午後一時半平支部に於て中島裁判長から言渡された

隔離　內鄕村宮鈴木留四郞（四八）は昨五日腸チフスと決定隔離された

四倉通信

郵便局　去月中の成績左の如し

貯金受二萬一千四百四十八圓四十三錢（九百二十口）拂二萬八千百七十三圓五十七錢五厘（五百六十六口）新加入三十五口

遍照講　如來寺に於て遍照講（御詠歌）四倉支部發會式は明七日擧行すると

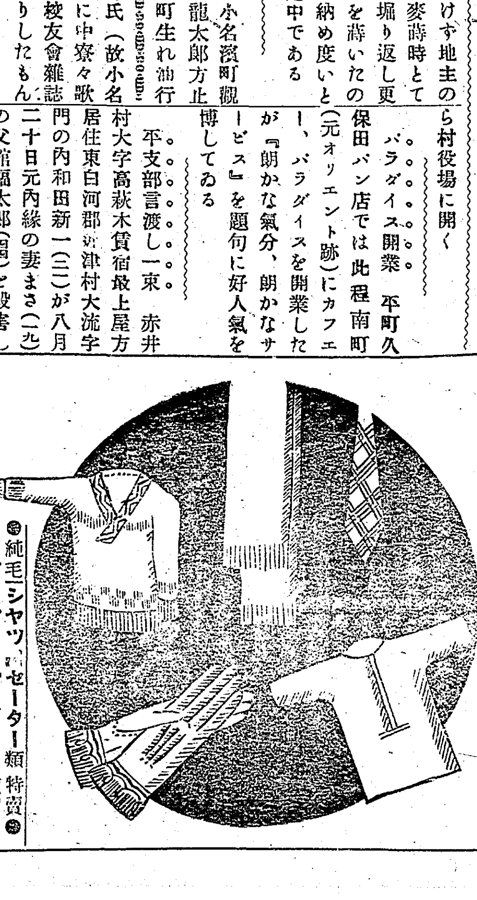
驛成績　乘客九千八百十三人料金九千二十五圓三十一錢、降車九千五百五十六人、貨物發送一萬一千六百五十五噸賃金三千八百二十七圓五十六錢、到着一萬八百四十三噸、手荷物發送二百五十個、到着三百五個、小荷物發送四百三十七個、到着九百四十四個、此料金百九十一圓

舊十一月十日　水曜　新十二月七日　壬寅　友引　滿　參宿

諸判定總審　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神鑑館

▲一白の人　利害得失定まらざる日無理押しせざれば吉▲二黑の人　血氣に任せて轉落すべき日短慮急功を戒む▲三碧の人　急がず焦らず初志にまい進せば終に功果あり▲四綠の人　進出を豫期して物事の停滯を來たす移轉凶▲五黄の人　利慾に心汚れて惰ぎを忘失するが如し注意▲六白の人　大望を企て意外の失敗に歸するも相談事吉▲七赤の人　才力の足らざるを知らず事業負けをすべし▲八白の人　根氣を失はざれば後日の喜び招くべき日▲九紫の人　公私の別を明らかにし私情におぼれざれば吉

關彰商店平支店
電話 六一番
◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
本店 水戶線下館驛前（電話 五五番）
茨城縣土浦町田宿（電話 六五三 八二四）
支店所在地
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……
〔型錄進呈〕
◇安全、便利、經濟のスタデリナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショーストーブ



㊣ 中野洋品店
◎純毛シヤツ、セーター類特賣◎
◎もだんショール、ネクタイ陳列◎
◎純良毛布特別廉價提供！◎
平 二、電 五三

平館 割引券
二十錢券 一枚十五錢
平町土橋 ㋮
電話四八九